

# お久しぶりです

石岡 いしおか

守さん まもる (47) 八戸

## スケートの魅力伝えたい

2009年2月18日、

八戸市の長根公園スケートリンクで行われた第61回県スピードスケート選手権で、12連覇の偉業を成し遂げた。現在は自動車のガラス販売会社の営業として働く傍ら、八戸学院大学スケート部のコーチとして、学生たちを指導する日々を送っている。

### 県スピード選手権12連覇

出身は北海道池田町。幼年期から凍った用水路などでスケートに親しみ、中学卒業後は名門・池田高校に入学。3年時に全国高校選手権の1000メートルと1500メートルで優勝するなど輝かしい成績を収めた。日本大学卒業後は吉田産業（八戸市）

の実業団チームに所属。県勢として国体に10回以上参加したほか、世界選手権にも2度出場した。4種目の総合得点を競う県選手権では、オールラウンダーの頂点に君臨。34歳で迎えた自身12回目の大会では500メートル、1500メートル、5千メートル、1万メートルそれぞれ2位と副委員長を務めながら、

安定した滑りで総合優勝を果たした。当時の本紙記事には「優勝は厳しいと思っていた。素直にうれし」と安堵する様子が記されている。同大会後に引退してからは、大会の運営補助などに関わるようになった。現在は県連盟の強化

八戸学院大の男子選手5人の指導を担当。「伸びしろがたくさんある選手たちで、成長が楽しみ」と期待を寄せる。2人の息子と娘も、親の競技愛に感化されスケーターとなった。19年に屋内リンクのYSアリーナ八戸が整備されるなど「八戸は最高の競技環境。今の子どもたちがうらやましい」とほほ笑んだ。「スケートを通して多くの人に会え、海外遠征なども経験できた。若い世代には『スケートの練習は大変だが、記録が伸びればとても楽しい』というのを伝えたい」



2009年2月19日付

県スピードスケート選手権12連覇を成し遂げた石岡さんの偉業を伝える本紙記事



（大久保拓地）  
現在、八戸学院大学のコーチや県スケート連盟の強化副委員長を務めている石岡さん